

【 敬老会を楽しみましょう 】

蝉や虫の音を聴くことも減ってきて、今は秋かな？などと季節がわかり難しくなっています。お変わりなく、お過ごしのことと存じます。

「人生の秋」というと少し寂しい感じもしますが、「実りの秋」と言えば、お米を始め、作物の収穫の時期になります。同じように 9 月は、高齢者の皆さんの、今までのご健闘を称える月でもあります。

当施設では、「敬老の日」のイベントを準備中です。今年も、皆様が大いに楽しめる催しにしようと職員一同、頑張っておりますので、大いにご期待ください。

聖路加病院の日野原先生は 105 歳まで、現役で頑張っておられました。その生涯は、医療に限らず、いろんな分野に興味を示され、自分から率先して、話題を提供されました。「生活習慣病」などの言葉は、とても分かりやすく、人々の関心を引き、教訓的な内容でした。

私たちも、ご利用者の皆さんの日々の生活を豊かにする工夫の中で、分かりやすく、キャッチフレーズとなる「生活習慣病」のような「言葉」をつくれる施設になりたいと思っています。ご利用者・ご家族の皆さん、職員もぜひチャレンジしてみてください。

それには、今月の敬老会を始め、日々の生活を楽しく、張りのあるものにする工夫をみんなで取り組んでみることで考えます。

イベントを大切にすることはもちろん、職員が楽しく仕事に取り組むことで、ご利用者の皆さんの笑顔や言葉かけ、体の動きなどが増えるというプラスの連鎖ができてきます。

そういうものを掬い取って、楽しい標語ができたなら、いいなあと期待するところ大です。介護施設の、食事介助、排泄介助、清潔介助が基本の生活はもちろん、それだけではなく、クローバーらしさをつくったり、発見する取り組みを見つけ、つくり出す、敬老の月、9月にしたいと考えています。

職員ともども考え、いろんな工夫が積み重ねて、楽しく、皆も自分も元気づけられる 9月にしたいと思います。

今月もご利用者、ご家族の皆さんのご協力、ご支援を心よりお願い申し上げます。

佐々木 榮一

